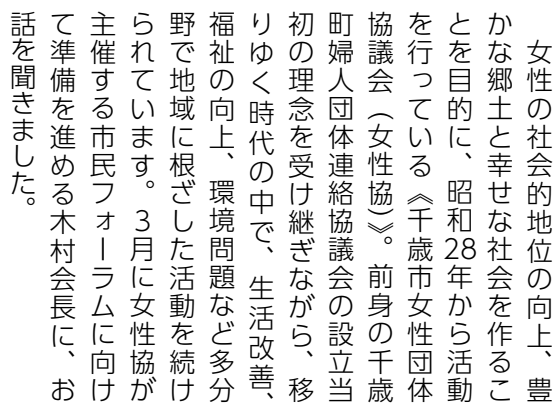


紀久子さん



加盟団体に入会しました。民生委員をしていたこともあり、活動の参考になるならとの思いから入りました。野菊の会は、道内外の研修に参加し、女性活動の発展をめざす団体です。その後、女性協の運営委員のひとりとして活動に参加し、いまに至ります。

●活動を通じて得たことは

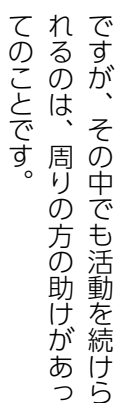
地域に根ざした活動は、みんなつながっていますね。つながっているからこそ、長く続けられているのかもしれませんが。野菊の会に入会する以前から、千歳更生保護女性会、赤十字奉仕団などに参加していました。その経験が、町内会や民生委員としての活動に生きていると実感しています。最近はお長職の仕事も増え、忙しい毎日

●女性協に入ったきっかけは

平成13年、近所の方に『面白そう
な研修があるからどうですか』
と声をかけられ、参加したのが縁
で、『野菊のぎくの会』という女性協

移りゆく時代の中で、団体としての変わらない思い

「地域に根ざした活動は、
みんなつながっている。」



●今後の活動は

年々、女性協の加盟団体・会員の数が減り、団体運営が厳しくなってきています。団体に所属し、活動に参加するとなると敷居が高くなるため、一般の方でも気軽に参加できる講演会を開催し、ひとりでも多くの市民に参加していただきたいと思っています。もちろん、男性の方も大歓迎です。また、女性協に加盟している団体だけでなく、他団体とのネットワークづくりや意見交換などを行い、研修会などの開催も考えています。時代の変化とともに学ぶ内容も変わってきています。昨年の市民フォー

ラムでは、『自分にあつた医療を
考える』をテーマにしました。今
年は、町内会にもお声かけして、
『地域とのつながり』をテーマに
したいと考えています。

65年もの永きにわたり、歴代の会長がつないできたバトンを次の代へ渡すために、試行錯誤しながらでも、できることからはじめていきたいと思います。

地域の出来事にアンテナを張り、《新たな学び》を求めて動き続ける木村さん。根底にあるのは、女性協が設立当初から大切に行っている《豊かな地域づくり》への思いです。先人の意思を受け継ぎ、積極的に活動する姿に、歴史の重みを感じました。

■ 木村 紀久子（きむら きくこ）さん／大和在住／札幌市出身／民生委員を22年務める／平成27年に女性団体《野菊の会》の会長に就任し、千歳市女性団体協議会の運営に携わる／平成30年に千歳市女性団体協議会会長に就任